

美術館再整備の背景

●再整備の必要性

文化芸術の振興や美術館機能の高度化が求められるなか、奈良県立美術館は運営体制、来館者数の低迷などの課題を抱えている。また、美術館としての基本的設備の不足により、求められる役割を十分に果たしていない。現状の課題を解消し、時代の要請に対応するための抜本的な再整備が必要。

●再整備の方向性

美術館をめぐる動向として、ICOMによる新しい博物館定義における多様性・包摂性の推進、博物館法の改正、博物館の機能の拡大等の現状を踏まえ、新たな美術館のあり方を検討した。

美術館再整備の基本理念

1 基本コンセプト 地域に根ざし、世界に開かれた、奈良県の未来を創造する美術館

地域に根ざし

奈良県ゆかりの芸術文化に光を当てる
県民の芸術文化活動の場になる

世界に開かれた

奈良県民が多様な芸術文化と出会う
奈良県の芸術文化を世界に発信する

未来を創造する

多様な人や場所と芸術文化をつなげる
芸術文化から新たな価値を生み出す

2 将来像 記録を記憶にし、未来の奈良県を想像し、新たな価値を創造する美術館

この地で生まれた芸術文化を「記録」として保存し、「記憶」として伝えることを通して、新たな創造性を発揮する場となる。作品や資料に込められた想いや物語を伝えることで、これからの時代にふさわしい奈良県の姿を「想像し、未来へ向けたビジョンを描く力」を育む場となる。
芸術文化を活かして奈良県の「創造する力」を育み、地域の活性化や新しい芸術文化の創出に寄与する場となる。

3 3つの使命（ミッション）

これまでの美術館

美術館の歴史は、収集した作品を誇示する場としての[第1世代]から、広く社会に対して開かれた[第2世代]を経て、人々が交流し体験を共有する[第3世代]へと進化し、新たな価値を創造する「第4世代」が台頭してきた。

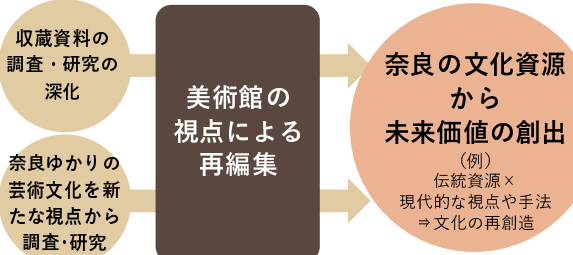
「基本コンセプト」に基づく以下の3つの使命を実現することにより、奈良の歴史文化を未来へつなぐ**第4世代のその先**を目指す

歴史と未来をつなぐ奈良県立美術館 4+（フォープラス）

〈使命（ミッション）①〉

みいだす
奈良の文化資源から「新たな価値」を創出する活動の推進

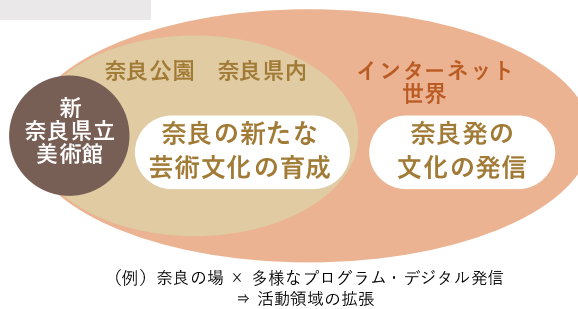
所蔵品に加え、奈良に伝わる**歴史資料、伝統技術や伝統芸能に加えマンガ、アニメ、建築、ファッション等を含む多様な文化資源**について、その背景・意味・美的価値を読み解き、組み合わせるなど、**美術館ならではの視点から再編集**し、新たな価値として広げていく。



〈使命（ミッション）②〉

ひろげる
奈良独自のフィールドを活かし、美術館の外へ活動を展開

奈良公園や寺社、自然等を、**新たな創作やアート・プロジェクトの舞台**にして奈良の新たな芸術文化を育むとともに、**文化観光拠点としてインターネット上での多様な情報発信**により奈良発の文化を世界へ届ける。

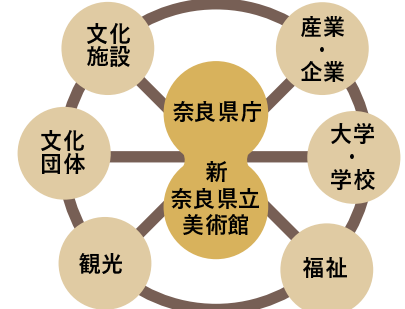


〈使命（ミッション）③〉

つなげる
多様な主体と連携し、ともに奈良の未来を創る活動

文化施設・大学・企業・産業・福祉・観光等、**多様な主体と協働**し、価値創造や地域課題の解決に取り組む「**未来共創ハブ**」として、**奈良県庁と一体的に奈良の未来を生み出す社会装置**となる。

- ・奈良県の政策構築や実現への寄与
- ・地場産業等へのデザイン支援
- ・県内の回遊促進
- ・インクルーシブな社会づくり
- ・伝統芸能・工芸の価値向上と発信等



新美術館の事業活動

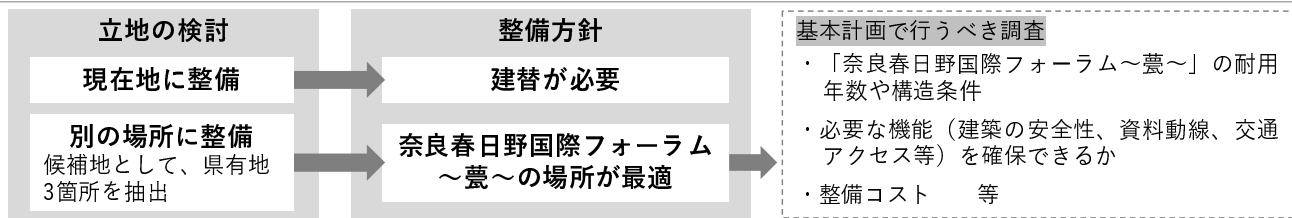
「美術館再整備の基本理念」を実現するために新美術館で展開すべき事業活動は以下の通りとするが、具体的な内容は、基本計画で詳細を検討する。

事業活動1 奈良県ゆかりの芸術文化 に光を当てる 【調査・研究、収集・保存】	事業活動2 県民が多様な芸術文化と 出会う 【展示】	事業活動3 県民の芸術文化活動の 拠点になる 【教育普及】	事業活動4 奈良県の芸術文化を通じて 世界につながる 【対話と連携】	事業活動5 奈良県の芸術文化から新たな価値を 創造する 【価値創造】
① 収蔵資料の調査・研究 ② 奈良ゆかりの芸術文化に関する調査・研究 ③ 奈良ゆかりの芸術文化の収集 ④ 収蔵資料の管理	① 収蔵資料や借用資料による多様な展示 ② 奈良ゆかりの展示 ③ 美術の枠を拡大させる新しい切り口の展示	① インクルーシブな教育普及事業 ② 美術館事業全体のアーカイブ化と多様な活用の促進 ③ 外部連携	① 収蔵資料のデジタルアーカイブ構築 ② 海外美術館との連携 ③ 国内外のアーティストとの連携による、地域に根ざしたアートプロジェクトの展開 ④ 奈良県内の美術館との連携	① 奈良県の政策構築や実現への寄与 ② 能や伝統工芸の価値向上と発信 ③ 地場産業やスタートアップへのデザイン支援 ④ ユニークベニューとしての活用、地域連携の促進 ⑤ オリジナル商品の開発

施設整備方針

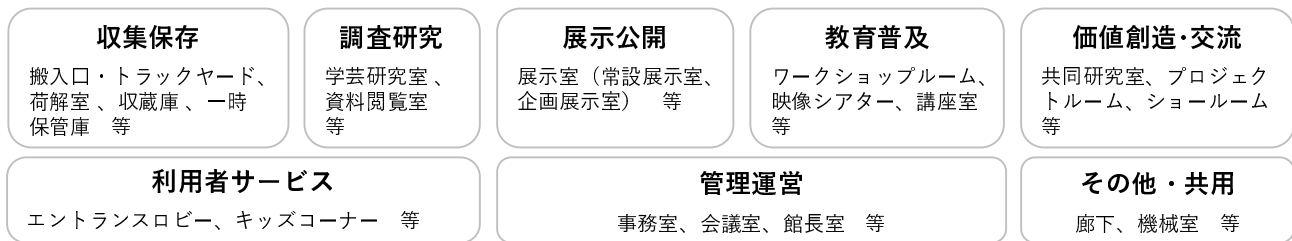
1 立地、整備方針

現地建替と奈良春日野国際フォーラム～蕨～での整備について、基本計画で必要な調査を行い、諸条件を整理して決定する。



2 新美術館の諸室と機能

事業活動を展開する上で必要な諸室・機能を機能特性に応じて、県内各地の施設や機能と連携して整備する。



3 整備スケジュール

令和8年度に検討する基本計画の方向性にもとづき、PFI事業の導入可能性調査を実施することにするが、現時点では右記の2つの整備スケジュールが想定される。

具体的な整備スケジュールは、今後の検討を踏まえて、随時、見直しを行う必要がある。

	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
[整備手法] PFIとなった場合	基本計画	基本計画	PFI事業者選定	設計・工事				開館準備	再開館		
	導入可能性調査	導入可能性調査									
[整備手法] 直営となった場合	基本計画	基本計画	基本設計	実施設計	工事			開館準備	再開館		
	導入可能性調査	導入可能性調査									